



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：杉山 昌行 副会長：鳥山 優子 幹事：木村 義広 会報委員長：青山 紀美代

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 ブランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2018年 8 月 2日 第 3165 回 週報第 3165 号

本日 8 月 2日	会員数 59 名	対象者 57 名	出席者 39(37) 名	出席率 66.10 %			
前々回 7 月 19日	会員数 59 名	対象者 57 名	出席者 44(42) 名	出席率 74.58 %	MUP 2 名	計 46 名	修正率 77.97 %

本日の卓話者ご紹介

大磯町参事
佐川和裕様



卓話

「旧吉田茂邸の再建と今後」

大磯町参事
佐川和裕

平成 21 年に焼失した旧吉田茂邸が再建され、昨年 4 月から一般公開を開始いたしました。本日は大磯町の歴史的な特徴を踏まえながら、再建までの経緯、現状、今後の課題などをお話させていただこうと思います。

大磯町は自然豊かで多様な歴史を積み重ねてきた町ですが、とりわけ明治期は特徴的です。宿場としての機能を失い経済的な疲弊に喘いでいた当時の大磯にとって、明治 18 年の海水浴場開設は画期的でした。さらに東海道線の大磯駅が開業すると、多くの政財界人や文化人たちが転地療養に訪れるようになります。吉田茂の養父・吉田健三が大磯に別荘を設けたのも同じ頃でした。

以来、何度も増改築を繰り返しながら、やがて昭和を代表する政治家・吉田茂が本邸として過ごした建物と庭が県立公園として一体的に整備されることとなります。しかし、その途上で主屋が全焼、失意の中にありながらも全国の方々から暖かい励ましとご寄附をいただき、町と県が協力して再建の取り組みを進めることになりました。そして、8 年の歳月を経て再建され、昨年 4 月に大

磯町郷土資料館の別館として念願の開館を果たしました。

開館後は予想を超えるたくさんの来館者をお迎えしており、あらためて吉田茂という名前の大きさを実感している一方で、政治家としての吉田の評価については慎重にすべきであるとの声もいただいています。吉田の実績をどのようにとらえて評価するのか、このことはあくまでも各個人の考えや思いに委ねられた問題です。私たち

から一方的に評価を押し付けるものではありません。史実をしっかりと伝えることと、さまざまな視点を用意しておくことが私たちの役目です。そして、来館者が主体的に物事を



考える場でありたいと願っています。そのためにも博物館施設として学術的な根拠をしっかりと担保しておくことが必要です。その上で、吉田の事績を客観視し、政治的な生々しい部分をそぎ落としていくと何が見えてくるのか。そこには、吉田が戦後日本の舵取りを任せられ、政治的決断をした事実が見えてきます。私たちは「決断」の文言をキーワードとしました。「決断」を活動の基幹に据えたわけです。

また、施設を維持していくための財源確保は大きな命題です。これまでのような博物館活動に留まらない発展的な思考が求められます。町では民間出身の参与を配置し、旧吉田茂邸の運営に関する専門的かつ技術的な助言や提案を受けながら進めています。近い将来に運営を民間に託すことも視野に入れながら、試行錯誤の 1 年目でした。その活動実績は、環境整備から学術、研修機能、迎賓館機能、教育機関や企業コラボレーション、文化芸術、メディアに至るまで幅広い分野にわたって事業展開をしてきました。もともと外交官出身の吉田は、私邸でありながら迎賓館的役割を意図した家づくりをしていたことから、迎賓館機能を意識した活用や、教育機関・企業との積極的な連携も進めています。また、昨年 1 年を振り返ってみると、新聞、雑誌、テレビなどでコンスタントに露出したことが集客の大きな要因になっています。「産学官」に「言」(メディア)を加えて連携することで、従来の待ち受け的な対応ではなく、戦略的な取り組みをしていくための仕組みづくりが大切であると考えています。

昨年11月、国の明治150年記念事業関連施策の一環として「明治記念大磯邸園」の設置が閣議決定されました。今後、邸園整備の進展も予測されますので、大磯町の持つ歴史文化的資源を一層活用しつつ、町の観光、町づくりの一翼を担っていくという自覚を持ちながら運営を進めていきたいと思っております。



卓話者ご紹介

佐川和裕(さがわかずひろ)様
 1960年 平塚市生まれ
 1983年 大磯町役場入庁
 1988年 大磯町郷土資料館学芸員(民俗担当)
 2010年 大磯町郷土資料館館長
 2012年 大磯町教育委員会教育部生涯学習課長
 2017年 大磯町参事(歴史・文化担当)
 この間、大磯町郷土資料館と旧吉田茂邸の開館に携わったほか、大磯町史・山北町史執筆委員、東京家政学院大学・東海大学・桜美林大学非常勤講師等を務める。専門分野は地理学、日本民俗学、民具学



卓話をされた佐川様と杉山会長、木村幹事

幹事報告

◎来週の例会は脇洋一郎ガバナーの公式訪問となります。例会後にガバナーを囲んでの懇談会が開催されますので、多くの会員のご出席をお願いいたします。

◎平塚信用金庫ひらつか信友会創立20周年記念講演会のご案内を頂きました。20周年を記念して、野球評論家の原辰徳氏をお迎えして、講演会が開催されます。

日時:平成30年9月3日(月)
 午後2時30分会場 午後3時開演
 会場:平塚市中央公民館

3名のお申し込みができますので、ご希望の方は事務局までお申し出ください。締切は8月9日(木)までです。

◎今月は会員増強推進月間です。

皆様も知り合いでロータリークラブのメンバーにふさわしい方がいらしたら、是非お声を掛けて入会をお勧めください。

委員会報告

・雑誌委員会 副委員長 梅干野 修司

8月号ロータリーの友より(16ページ掲載)2780地区女性会員数は2018年4月現在、251名で第3位。女性比率は10.2%で第2位です。(17ページ掲載)前年度、地区会員増強・維持委員長の記事、ご一読下さい。(24ページ掲載)ロータリーでも甲子園にて野球大会があるのをご存知ですか?6/2~3、第35回大会開催。「30年目で憧れの甲子園グラウンドへ…」など感想をご覧ください。

・親睦委員会 委員長 今村 佳広

8/24(金)湘南ひらつか花火大会、多数ご出席をお待ちしております。特別観覧席で楽しみたいと思っております。

7月のスマイル大賞

7/5例会 関口幸恵 会員

😊また新しい年度が始まりましたね。今年度もよろしくお願ひします。名札に花がついていて「何だろう?」と思ったら、結婚記念月でした。結婚当初より、両親の介護を休みなく文句も言わず、逆に励まされ続けて旦那様には感謝しきれません。大切にしなければ・・・と日記に書いておきましょう。

7/19例会小林 誠 会員

😊結婚21年です。今週末は2人で札幌に旅行してきます。

メークアップ (MUP)

2名

常盤卓嗣、米山俊二会員

本日のスマイル

8名

ゲスト

1名

大磯町参事 佐川和弘様

ビジター

0名

卓話・行事予定

8月 9日(木) 脇洋一郎ガバナー公式訪問
 8月16日(木) 休会
 8月23日(木) →24日(金) 移動夜間例会
 第68回湘南ひらつか花火大会見学
 8月30日(木) 入会記念卓話 益山賢太会員

市内例会変更

現在ございません。

